

新年明けまして

おめでとございます

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。年頭に当たり、矢吹町議会議員十四名を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成二十九年が、矢吹町と全町民に更なる繁栄をもたらす素晴らしい年になりますよう、衷心より御祈念申し上げます。

また、皆様方におかれましては、平素より、町政並びに議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、国は「強い経済」、「子育て支援」、「社会保障の充実」に努めております。しかし、少子高齢化の進行が将来への不安につながり、十分な消費や投資に繋がらないことから、さらに、緊急の経済対策に取り組もうとしております。

こうした経済情勢のなかで、地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しく、特に人口減少が著しい地方にとっては経済情勢も含め、先行きがますます不透明感を増しております。

そうしたなか、本町においては町民の皆様と一丸となって大震災と原発事故からの復興、復興に努め、震災から5年10ヶ月が経過し、目に見える活気ある復興の町づくりへと着々と進んでいるとあります。

近年の地方分権の進展により、住民に身近な市町村の役割は一層重要になっており、町政においても、少子高齢化への対応、地域の特性を活かした産業の振興、中心市街地等の活性化などの課題が山積しております。このような様々な課題を抱えるなか、地方議会とその議員が果たすべき役割及び責務はますます増大してきております。

矢吹町議会では、時代に即応できる議会をめざし、議会基本条例を創設し、議会の活性化を図りながら、その運営に邁進しております。今後、私も議員一同は、現在の厳しい政治経済状況を踏まえ、執行機関と切磋琢磨しながら、主役である町民の皆様が、安全かつ安心して生活出来る、さらに住みよい矢吹町の未来に向け、町民の皆様と一緒に、精一杯努力してまいり所存であります。

なにとぞ、これまで以上の御指導並びにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民各位の御健勝並びに御多幸、そして更なる御活躍をご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。

矢吹町議会議長 熊田 宏

